

## 令和3年度第1回三島市文化財保護審議委員会 会議録

1 開催日時 令和3年12月22日(水) 午後1時30分から3時10分まで

2 開催場所 三島市民生涯学習センター5階 第1, 2研修室

3 出席者

(1) 鈴木委員長、迫田副委員長、太田委員、佐藤委員、魚尾委員、河内委員、廣瀬委員、増島委員、袴田委員、近藤委員

(2) 西島教育長、鈴木教育推進部長、芦川文化財課長、辻主幹、菅原主事、近藤学芸員

4 会議の公開・非公開の別

公開

5 傍聴人の人数

0人

6 審議会の内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 委員長・副委員長選出

(4) 委員長あいさつ

(5) 報告事項

- ・三嶋曆師の館（屋根修理と耐震補強）、圓明寺表門の防虫対策、箱根旧街道石畳の修復、旧小松宮別邸桜御殿の屋根修理について資料に沿って説明。

- ・文化財保存活用計画について、令和4年度から着手し、2か年の計画で策定を進める。専門の委員会で協議した後、文化財保護審議委員会へ諮る。

- ・来年度の委員会開催について、2回を予定していること、視察は新型コロナウイルスの影響から実施しない旨報告。

(6) 質疑応答、意見等

- ・紙のものだけでなく、スマホで文化財巡りができるようになるといい。地域の方だけでなく観光の方のためにもなると思う。

- ・大河ドラマの関係で、スマホのスタンプラリーについては願成寺もスポットになっている。

- ・郊外だとお手洗いの問題がある。願成寺では時間による施錠と、声をかけていただければ通りかかった方でも利用していいようにしている。

- ・市指定文化財であるクスノキの点検方法を知りたい。将来の課題として、5年に一度くらい、樹木医の方に来ていただくとか、指導を市にしてほしい。管理はなかなか大変で、大きい枝だと落ちた時に近所のものを壊してしまうとか被害がある。

- ・コロナでさわやかウォーキングが中止になっているが、文化財や観光の看板のQRコードの点検をしてほしい。

- ・文化財保存活用計画について、大河ドラマのように、広域連携のことも考えてほしい。

- ・文化財の保存には資金が必要。財政を無視して指定文化財を次々増やしていくことには反対である。行政に頼らない基金や仕組み、活動を作っていくべき。小池市長の時、文化財を長持ちさせるための手入れをする「建築磨き隊」を組織し、一時期30名が活動をしていた。熱海市にもその組織を作った。建物1つにつき1つの基金を作り、修繕や資料作成をする。この活動をぜひ三島市にも

取り入れてほしい。建築は特に保存にお金がかかる。「文化財にしなきゃよかった」という声が少なくなるように。

- ・文化財保存活用計画の策定にあたり、ボランティア経済への危惧を感じた。ボランティアをしたらそこで終わりではなく、経済的にも潤うような仕組みを作してほしい。

- ・文化財の看板については維持管理費用がかかるので、工夫してほしい。私の経験では、裾野市は5地区あり、それぞれ小学生でもわかる冊子を作ったことがある。その冊子に掲載したものすべてに看板を付けようとして、やはり財政的にすぐにはできなかった。

- ・保存活用計画の策定に際し、立ち入ってはいけないところの配慮をした方がいい。

- ・向山古墳群の国指定の進捗状況は。

  - 新型コロナウイルスの影響で委員会を開催できず、延期となっている。

- ・最低限の看板、誰でもわかるものを設置してほしい。スマホの方で情報を得られるように。

- ・三嶋曆師の館や桜御殿の修繕について、昔の素材を活かしており、三島はしっかり対応してくれていると感じた。

- ・障害を持つ方に対応した案内。音声ガイドやレプリカを作成し、触れる文化財を設ける。

以上

《所要時間 1時間30分》